



令和6年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年5月13日

上場会社名 株式会社 トーア紡コーポレーション
コード番号 3204 URL <https://www.toabo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 渡
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 竹川 宗一郎

TEL 06-7178-1158

四半期報告書提出予定日 令和6年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年12月期第1四半期の連結業績(令和6年1月1日～令和6年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年12月期第1四半期	4,353	4.3	175	12.3	199	7.4	116	13.3
5年12月期第1四半期	4,547	14.6	200	105.4	185	103.9	103	193.9

(注) 包括利益 6年12月期第1四半期 494百万円 (170.8%) 5年12月期第1四半期 182百万円 (29.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年12月期第1四半期	13.13	
5年12月期第1四半期	11.57	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
6年12月期第1四半期	36,720	12,904	35.1	1,454.52
5年12月期	34,455	12,540	36.4	1,405.16

(参考) 自己資本 6年12月期第1四半期 12,894百万円 5年12月期 12,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年12月期		0.00		12.00	12.00
6年12月期					
6年12月期(予想)		0.00		13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年12月期の連結業績予想(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	3.9	650	12.5	600	26.0	350	39.0	39.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年12月期1Q	8,940,448 株	5年12月期	8,940,448 株
期末自己株式数	6年12月期1Q	75,147 株	5年12月期	22,647 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年12月期1Q	8,907,878 株	5年12月期1Q	8,918,106 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成されたものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要の回復や企業収益の改善もあり、緩やかな回復基調にあります。一方で、不安定な国際情勢による景気減速リスクに加え、原材料およびエネルギー価格の高止まりや為替の動向など、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは市場ニーズを先取りする高付加価値・高品質商品を提供する「暮らしと社会の明日を紡ぐ企業」として、競争力の強化と収益性の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,353百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益は175百万円（前年同期比12.3%減）、経常利益は199百万円（前年同期比7.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は116百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

[衣料事業]

衣料事業は、各種繊維を原料とする衣料用素材の製造・販売および制服の縫製加工、ニット製品の製造・販売を行っております。

昨年のコロナ明けのリベンジ需要から一変、昨秋の残暑の影響もあり全般的な失速感は否めない状況となっております。

毛糸部門は、織糸、ニット糸共に店頭での販売不振を反映して受注状況に陰りがみえてきており微減収となりました。

ユニフォーム部門のスクール制服向け素材およびニット製品は、モデルチェンジの流れが継続し、増収となりましたが、加工賃等各種コスト構成要素の上昇による損益悪化が顕著になってきております。

官公庁制服向けは別注案件の受注が不振に終わり減収、一般企業向け制服素材も追加のオーダーが失速し、減収となりました。

テキスタイル部門は、郊外店向けの受注が得意先の在庫調整により減少し、減収となりました。

毛糸製造販売を主体とする中国現地法人は、おおむね堅調に推移し、微増収となりました。

この結果、売上高1,777百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益113百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

[インテリア産業資材事業]

インテリア産業資材事業は、自動車用内装材、住宅建材・排水処理資材・土木資材・緑化資材などさまざまな用途の産業用資材、インテリア関連製品、オレフィン系短繊維の製造および販売を行っております。

国内においては、新型コロナウイルスの影響が収まり、自動車産業は昨年より半導体不足も緩和され増産体制に入りましたが、一部メーカーの認証試験の不正による生産停止がありました。

ポリプロファイバー部門は、自動車内装材用原綿は自動車販売数に合わせて増産、カーペット用原綿は展示会、イベント需要が増え増収増益となりました。

カーペット部門は、需要も落ち着き売上は減りましたが原材料、電力燃料の価格転嫁も進み減収増益となりました。

特殊繊維部門は、カーボン繊維が好調で増産体制に入り増収増益となりました。

自動車内装材部門は、需要が落ち着いたことと、原材料代の下落に伴い販売価格も下がったために減収減益となりました。

不織布部門は、寝装向けは順調に推移しましたが、土木、緑化、防草向けの受注が減り減収微増益となりました。

自動車内装材製造販売の中国現地法人は、昨年より日系自動車会社の減産が続いております。昨年は中国ローカルのEV車増産により生産量がありましたが、今年はそれも低迷しており減収となりました。

この結果、売上高1,737百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益56百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

[エレクトロニクス事業]

エレクトロニクス事業は、半導体・電子機器の製造および販売を行っております。

電動工具向けコントローラーとパワー半導体が、産業機器、工作機械、家電分野で、昨年からの得意先の在庫調整の影響を受けて、減収となりました。

この結果、売上高251百万円（前年同期比33.4%減）、営業損失5百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

[ファインケミカル事業]

ファインケミカル事業は、ヘルスケア関連薬品、電子材料用および工業用薬品の製造および販売を行っております。

電子材料分野ではデジタル需要の本格的な回復に未だ至らず、受注の低迷と生産調整を強いられ減収となりました。ジェネリック医薬品分野は、先発品メーカー系との競争激化で主力製品の受注が振るわず減収となりました。

この結果、売上高164百万円（前年同期比19.4%減）、営業損失25百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

[不動産事業]

不動産事業は、主に郊外型ショッピングセンター・ロードサイド店舗・オフィスビルの賃貸などを行っております。

一部テナントの撤退の影響と販売費の増加により減収減益となりました。

この結果、売上高224百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益131百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

[その他]

その他の事業は、自動車学校の運営、ヘルスケア商品の販売、洋菓子店の運営などを行っております。

自動車教習事業は、高校生の入校状況が低調であったため減収となりました。

ヘルスケア事業は、ムサシノ製薬の主力商品であるフタアミンクリームの上値の押し上げの影響と、それに伴う昨年末の駆け込み需要の反動により売上が低迷しました。なお、前第2四半期連結会計期間よりムサシノ製薬の損益計算書の連結を開始したため売上は増加しております。

この結果、その他の事業全体の売上高は198百万円（前年同期比136.8%増）、営業損失5百万円（前年同期は営業利益8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2,265百万円増加し、36,720百万円となりました。その主な要因は、電子記録債権および投資有価証券等の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比1,900百万円増加し、23,815百万円となりました。その主な要因は、長期借入金および短期借入金等の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比364百万円増加し、12,904百万円となりました。その主な要因は、その他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定等の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年12月期の業績予想につきましては、令和6年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,471	2,812
受取手形及び売掛金	2,584	2,308
電子記録債権	105	1,906
商品及び製品	2,534	2,506
仕掛品	828	732
原材料及び貯蔵品	2,297	2,320
その他	301	308
貸倒引当金	△20	△27
流動資産合計	11,102	12,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,961	1,976
機械装置及び運搬具（純額）	456	498
土地	17,074	17,074
リース資産（純額）	122	120
建設仮勘定	750	737
その他（純額）	92	90
有形固定資産合計	20,458	20,497
無形固定資産		
のれん	77	75
その他	66	70
無形固定資産合計	144	146
投資その他の資産		
投資有価証券	1,974	2,382
繰延税金資産	117	147
その他	707	729
貸倒引当金	△49	△53
投資その他の資産合計	2,749	3,206
固定資産合計	23,352	23,850
資産合計	34,455	36,720

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,747	1,535
短期借入金	5,976	6,936
未払法人税等	203	130
賞与引当金	—	118
解体撤去引当金	96	46
その他	1,102	1,030
流動負債合計	9,126	9,797
固定負債		
長期借入金	6,825	7,970
繰延税金負債	4,252	4,333
退職給付に係る負債	1,080	1,083
長期預り敷金保証金	484	486
資産除去債務	52	52
その他	93	91
固定負債合計	12,789	14,018
負債合計	21,915	23,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	3,570	3,570
利益剰余金	3,636	3,646
自己株式	△20	△43
株主資本合計	11,127	11,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	540	764
繰延ヘッジ損益	△4	2
為替換算調整勘定	866	1,013
その他の包括利益累計額合計	1,403	1,780
非支配株主持分	9	9
純資産合計	12,540	12,904
負債純資産合計	34,455	36,720

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)
売上高	4,547	4,353
売上原価	3,681	3,466
売上総利益	866	886
販売費及び一般管理費	666	710
営業利益	200	175
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	0	0
為替差益	0	16
助成金収入	1	—
補助金収入	5	—
固定資産税還付金	—	28
その他	10	14
営業外収益合計	22	64
営業外費用		
支払利息	18	22
持分法による投資損失	4	5
その他	13	11
営業外費用合計	36	40
経常利益	185	199
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産廃棄損	0	0
固定資産売却損	0	—
固定資産圧縮損	—	0
投資有価証券評価損	—	0
災害による損失	0	—
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	185	198
法人税、住民税及び事業税	111	122
法人税等調整額	△28	△40
法人税等合計	82	81
四半期純利益	102	117
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	103	116

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)
四半期純利益	102	117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	223
繰延ヘッジ損益	22	6
為替換算調整勘定	29	126
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	20
その他の包括利益合計	80	377
四半期包括利益	182	494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	494
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	エレクト ロニクス 事業	ファイ ンケミ カル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	1,848	1,807	376	203	227	4,463	83	4,547	-	4,547
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	4	0	-	5	11	89	101	△101	-
計	1,848	1,812	377	203	232	4,475	173	4,649	△101	4,547
セグメント 利益又は損 失(△)	125	62	△5	△8	134	308	8	317	△117	200

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△117百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△119百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」のセグメントにおいて、ムサシノ製薬株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては83百万円であります。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算出された金額であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	衣料事業	インテリア 産業資 材事業	エレクト ロニクス 事業	ファイン ケミカル 事業	不動産 事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	1,777	1,737	251	164	224	4,154	198	4,353	—	4,353
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1	4	2	—	5	14	81	96	△96	—
計	1,779	1,742	253	164	229	4,169	279	4,449	△96	4,353
セグメント 利益又は損 失(△)	113	56	△5	△25	131	270	△5	264	△89	175

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。
2. セグメント利益又は損失の調整額△89百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△90百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年1月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料事業	インテリア産業資 材事業	エレクトロニク ス事業	ファイン ケミカル 事業	不動産 事業	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,847	1,785	376	203	16	4,229	83	4,313
その他の収益	1	21	—	—	211	234	—	234
計	1,848	1,807	376	203	227	4,463	83	4,547

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年1月1日 至 令和6年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	衣料事業	インテリア産業資 材事業	エレクトロニク ス事業	ファイン ケミカル 事業	不動産 事業	計		
売上高								
顧客との契約から生じる収益	1,776	1,715	251	164	15	3,922	198	4,121
その他の収益	1	21	—	—	208	231	—	231
計	1,777	1,737	251	164	224	4,154	198	4,353

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習事業、ヘルスケア事業等が含まれております。